

聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 11・17～27

命なるキリスト

わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとい死んでも生きる。

ヨハネ 11・25

目標

永遠の命の与え主キリストを信じ、永遠の命の希望に生きる。

10月2日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・25

わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとい死んでも生きる。 25節

「死」について考えたこと、ありますか？  
生きているものにはすべて死ぬときがきます。  
「死」がこわくて、ある人はふかく考えないようにし、ある人はなんども生まれかわると言います。でも「あなた」という人はたった一回のチャンスの人生を生きているのです。

イエス様は、「死」が終わりではないことを教え、だれにもにげることができない「死」の問題を解決するために来てくださいました。

そして、永遠の命を持つ者になるように、今日も、あなたをまねいてくださっていますよ。

いの祈り

天のお父様、だれも解決できない死の問題を解決し、永遠の命を持たせてくださることをありがとうございます。

10月3日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・17～18

ラザロはすでに四日間も墓の中に置かれていた。 17節

ラザロが死んでお墓に入ってから四日。家族の人やまわりの人、きっとあなたも、「ざんねん、まにあわなかった。どうしてイエス様は来てくれなかったの？」と思っているよね。

でも、イエス様はそうは思っていないよ。

悲しいことの中でも、イエス様を信じつづける人には、すばらしいことを体験させたいとねがっておられることが聖書を読むとわかるよ。

そう考えると、意味のないできごと、手おくれなことなんてない、イエス様のなさることはすべて意味がある、と期待して祈れるね！

いの祈り

天のお父様、どんなことにも、イエス様がこたえをくださることを信じます。

10月4日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・19

大ぜいのユダヤ人が、その兄弟のことで、マルタとマリヤを慰めようとしてきていた。 19節

「永遠の命」を知らない人にとって「死」はとてもざんこくなものです。かけがえのないものをなくすと、ふかい悲しみがやってきます。なにもかも失ってしまつて、もうとりもどせないと思ってしまうんだね。そして、どんななぐさめのことばも心にとどかず、かえつてつらくなってしまう。

このときのマリヤとマルタもきっとふかい悲しみの中にあつたでしょうね。

だからこそ、人には「永遠につづく希望」がぜったいひとつうなだね。

いの祈り

天のお父様、わたしにも永遠の希望がぜったいひとつです。

## 10月5日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・20～22

しかし、あなたがどんなことをお願（ねが）いになっても、神（かみ）はかなえて下さ（くだ）ることを、わたしは今（いま）でも存（ぞん）じています。 22節

自分の願（ねが）いがかなわないとき、つらい目（め）にあったとき「イエス様（さま）があ（あ）のとき～してくれ（め）たら～だったのに」と思うことはありますか？

人（ひと）の心（こころ）はぐらぐらとゆれうごくもの。その中（なか）で、なにが正（ただ）しくて、なにを信（しん）じればいいのかわからなくなる人もあるよ。

マルタは、深（ふか）い悲（かな）しみの中（なか）にはあ（あ）ったけれどイエス様（さま）を心（こころ）から信（しん）じていたんだね。

心（こころ）がぐらぐらゆれてたおれそうなき（き）こそ、イエス様（さま）を信（しん）じる信（しん）仰（かう）からはなれないことがたいせつなんだね！

祈り

天（てん）のお父（とう）様（さま）、心（こころ）がくじけそうなき（き）こそ、イエス様（さま）をつよく信（しん）じます。

## 10月6日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・23～24

終（お）わりの日（ひ）のよみがえり（とき）のよみがえることは、存（ぞん）じています 24節

イエス様（さま）にラザロ（らざろ）のよみがえり（とき）のことを教（おし）えられても、マルタ（マルタ）はよくわかりませんでした。聖書（せいしよ）には終（お）わりの日（ひ）によみがえることしか書（か）いていなかったからです。

聖書（せいしよ）に書（か）いていることを、ど（ど）んなに信（しん）じている人（ひと）も、その意（い）味（み）がなん（なん）であるのか、なにが起（お）きようとしているのか、100%理（り）解（かい）できるわけではないよ。

そのひとつひとつを、わ（わ）からせてくださ（くだ）るのはイエス様（さま）。イエス様（さま）に「心（こころ）の目（め）をひらいてください」と近（ちか）づいていくとき、人（ひと）の考（かん）えをは（は）るかにこえ（こ）たもの（もの）が見（み）えてくるよ。

祈り

天（てん）のお父（とう）様（さま）、わ（わ）たしの心（こころ）の目（め）を開（ひら）いて、すばらしいもの（もの）を見（み）させてください。

## 10月7日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・25～26

わたしはよみがえりであり、命（いのち）である。 25節

「永遠（えいえん）の命（いのち）」ってど（ど）んなだろ？ 死（し）んだあと、体（からだ）からふ～っとぬけだして天（てん）国（こく）にいく「見（み）えない自分（じぶん）」？ もしそうなら、イエス様（さま）が死（し）んだあとよみがえ（え）ったり、死（し）んだラザロ（らざろ）が生き（き）えるひつよう（よう）はないよ？

神（かみ）様（さま）は、イエス様（さま）を救（すく）い主（ぬし）と信（しん）じる人（ひと）に、死（し）んだ人（ひと）の体（からだ）であ（あ）ってもよみがえ（え）らせる力（ちから）があるお方（かた）だ（だ）というこ（こ）を教（おし）えてくれたんだね。

死（し）んだあと天（てん）国（こく）にいくだけ（だけ）の見（み）えない体（からだ）じゃなく、死（し）に負（ま）けない復（ふ）活（かつ）の体（からだ）、イエス様（さま）のよみがえ（え）りとおな（おな）じ体（からだ）が、あ（あ）なたにもやくそく（そく）されていること（こと）、信（しん）じますか？

祈り

天（てん）のお父（とう）様（さま）、イエス様（さま）の命（いのち）、イエス様（さま）のよみがえ（え）りが、わ（わ）たしにもやくそく（そく）されていること（こと）を信（しん）じます。

## 10月8日（土）

聖書  
聖句

ヨハネ 11・27

主（しゅ）よ、信（しん）じます。 27節

どうや（や）ったら逃（に）げられるだ（だ）ろう、どうや（や）ったらなん（なん）と（と）かできるだ（だ）ろうと、自分（じぶん）でが（が）んば（ば）ってし（し）まうの（の）がわ（わ）たした（た）ち。

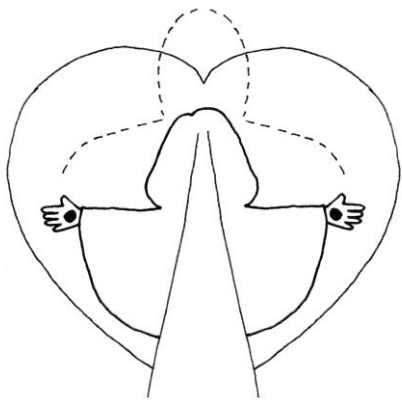
そ（そ）んなとき（とき）、「主（しゅ）よ、信（しん）じます」と、心（こころ）にか（か）えてい（い）るもの（もの）をす（す）べてイエス様（さま）の（の）と（と）ころ（ころ）に持（も）ってい（い）けたらど（ど）んなにす（す）ばらしいだ（だ）ろうね。

「～してく（く）ださい」とお（お）ねが（が）いば（ば）かりのわ（わ）たした（た）ち（ち）だ（だ）けど、イエス様（さま）が待（まち）っているの（の）は、い（い）つだ（だ）って「信（しん）じます」そ（そ）の（の）ひと（ひと）こと（こと）だ（だ）よ（よ）ね。

だ（だ）って、イエス様（さま）がわ（わ）たした（た）ち（ち）の救（すく）い主（ぬし）、ど（ど）んなとき（とき）も、いち（いち）ばん（ばん）良（よ）い道（みち）にみ（み）ち（ち）び（び）いてくださ（くだ）るお方（かた）だ（だ）も（も）ね。

祈り

天（てん）のお父（とう）様（さま）、い（い）ろ（ろ）い（い）ろ（ろ）つ（つ）ぶ（ぶ）や（や）いた（いた）り、が（が）ん（ん）ば（ば）り（り）す（す）ぎ（ぎ）たり（たり）する（する）の（の）で（で）なく（なく）、あ（あ）なた（た）に「信（しん）じます」とお（お）ま（ま）かせ（せ）し（し）ま（ま）す。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 14・1～6

道なるキリスト

わたしは道であり、真理であり、命である。

ヨハネ 14・6

目標

天国への道であるキリストを信じる。

10月9日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 14・6

わたしは道であり、真理であり、命である。 6節

道をまちがえて、ぜんぜん知らないところに  
ついちやったこと、ありませんか？ とちゅう  
まで合っていたはずなのにおかしいな？ ひと  
つまちがっただけでぜんぜんちがうんだね！

「道路」なら、またもとにもどればやり直せ  
るけど、「天国へ行く道」はまちがえたままで  
いるともどれなくなるんだ。

あなたも、人生の道を歩きはじめているけど、  
どんな道を歩いていますか？

イエス様は、ご自分が「道」だと言われたよ。  
そう、天国へ行くなら、イエス様を信じて心  
におむかえするほかないってことだね。

祈り

天のお父様、イエス様を心から信じて、  
天国の道を歩いていきます。

10月10日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 14・1

あなたがたは、心を騒がせないが  
よい。神を信じ、またわたしを信じ  
なさい。 1節

しっばいするかもしれない、たいせつな人を  
傷つけるかもしれない、ひとりぼっちになるか  
もしれない、たよるものがなくなっちゃうかも  
もしれない…。そんな気持ち、お弟子さんだけ  
じゃなく、あなたにもあるんじゃない？

不安でいっぱいのお気持ちを解決する方法、わ  
たしたちはすぐにわすれてしまうけど、そうか、  
イエス様が言われたことを思い出さなきゃい  
けないね。わたしにはいつもイエス様がいつ  
しよにいてくださるんだね！ 神様が見ていて  
くださるんだね！

祈り

天のお父様、いつもかわらずわたしと  
いつしよにいて、守ってくださり、あり  
がとうございます。

10月11日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 14・2

わたしの父の家には、すまいがたく  
さんある。 2節

今、どこにいても、なんだか「居場所」がな  
いと感じる人が、とてもたくさんいるみたい。  
つらいことや悲しいこと、問題が多すぎて  
心や体がつかれちゃうんだね。

イエス様は、悲しみのなみだも、心の傷も  
ない、みんなが安心して「ああ、ここがわたし  
の居場所だ」と言えるところを用意してくだ  
さったお方。それも「たくさん」！

だから、どんなことがあっても、「わたしに  
も天に居場所がある」と思うと、希望がもてる  
んだね。安心できるんだね。

祈り

天のお父様、イエス様が、わたしのた  
めにも、天に「居場所」を用意してくださ  
ったことを、ありがとうございます。

## 10月12日（水）



ヨハネ 14・3

わたしのおる所<sup>ところ</sup>にあなたがたもお  
らせるためである。 3節

イエス様のやくそくは、わたしたちが思うよ  
りもずっとずっと大きいって知ってる？

イエス様を信じる人の心の中に、イエス様  
がいてくださることは知っているけど、それで  
おわりじゃないんだって。

やがて、本当にイエス様といっしょに、それ  
も永遠にイエス様といっしょにいる日がくる  
んだって！

神様の子どもになるってすごいことだね！  
もっとたくさんの人と、この永遠のよこびを  
分けあっていきたいね！ たいせつな人のため  
にお祈りしていきたいね！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のところで、たく  
さんの人といっしょにすごせるように、  
お祈りしていきます。

## 10月13日（木）



ヨハネ 14・4

わたしがどこへ行くのか、その道<sup>みち</sup>は  
あなたがたにわかっている。 4節

イエス様は、わたしたちが天国へ行くために、  
たったひとりで「道」を行かれました。

むちをうたれ、つばをはきかけられ、苦しめ  
られて、とうとう十字架で血を流して死ぬとい  
う「道」、それは、わたしたちが罪のためにう  
けなければいけなかった罰を、代わりにうけて  
くださる、という「道」でした。

イエス様を信じる人は、「十字架の道」、「罪  
の罰の道」を歩かなくてもいいんだね、もうイ  
エス様によって罰は終わっているんだね。イエ  
ス様が、天国へのかけはしになってくださった  
んだね。イエス様、ありがとう！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様が歩いてくださ  
った道によって、天国への道がひらかれて  
いることを感謝します。

## 10月14日（金）



ヨハネ 14・5

主よ、どこにおいでになるのか、わ  
たしたちにはわかりません。どうし  
てその道<sup>みち</sup>がわかるでしょう。 5節

「わからない！ 見なきゃ信じない！」なん  
でも自分でたしかめないと気がすまない性格  
のトマスさんタイプの人、いっぱいいるよね？

聞いただけで信じられるほど、人はすなお  
じゃないよね。だからこそ、イエス様はトマス  
にもしんけんに向き合って、どういうことなの  
か頭<sup>あたま</sup>だけでなく、心からわかるようにしてく  
ださったのです。

イエス様は、あなたにちゃんと向き合ってく  
ださるお方<sup>かた</sup>。だからあなたも、イエス様にちゃ  
んと向き合うひつようがあるんだね！

いの  
祈り

天のお父様、心からイエス様をわかるよ  
うに、わたしもちゃんと向き合います！

## 10月15日（土）



ヨハネ 14・11

だれでもわたしによらないでは、父  
のみもとに行くことはできない。 6節

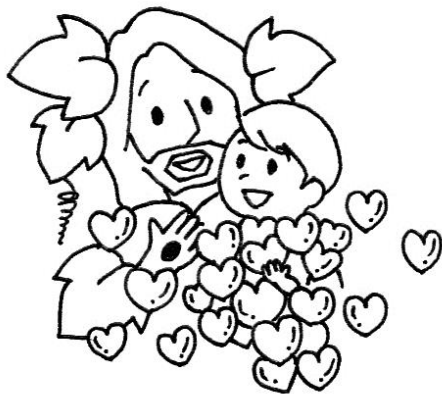
だれもがみんな、天国に行きたいと思うはず。  
でも、多くの人は、天国行きの道を見つけよう  
とも、歩こうともしないんだね。

天国行きの道を歩いている、と思っている人  
も、「そうじゃないよ」「それってどうなの？」  
と思うような道を歩いていることもあるよね。  
人生の「道」でまようとき、こまったとき、  
どうしたらいい？

それは、聖書になんて書いてあるか、イエス  
様がどう歩いたか、イエス様ならどうするかを  
見つけることだね！ イエス様という道（生き  
方）の上を歩いていくことだね！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の道を、まっすぐ  
歩ませてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 15・1～8  
ぶどうの木なるキリスト  
わたしはぶどうの木、あなたが  
たはその枝である。ヨハネ 15・5

目標

キリストにつながり、実を結ぶ  
者となる。

10月16日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・5  
わたしはぶどうの木、あなたがたは  
その枝である。5節

「木はその実を見て知る」という言葉があり  
ます。ぶどうの実がぶどうの木から、というく  
らいならわかるよね。でも、もんだいなのは、  
その実が「おいしいか、まずいか」だね。良い  
木からしか、良い実にならないってことだね。

じつは人にも「実」があつて、その実がどん  
なものか、神様は見ておられるんだつて。つま  
り、あなたがいつもしている行いや思いや考  
え方が、そっくりそのまま「あなた」という「実」  
なのです。

聖書の中から「自分の実はどんなだろう？」  
と考えてみてください。

いの  
祈り

天のお父様、自分の実から、自分がどう  
いう姿であるか知らせてください。

10月17日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・1～2  
実を結ぶものは、もっと豊かに実ら  
せるために、手入れしてこれをきれ  
いになさるのである。2節

実のなる植物を育てるとき、どの枝ものば  
して、なるべくたくさん実がなれば、と思うよ  
ね？ でも、そうすると一つ一つの実に栄養が  
いかず、おいしくなくなっちゃうんだ。だから、  
もったいなくても、たくさんのお枝をおとすんだ  
よ。そうすると、実にたくさんの栄養があつ  
まって、やがて良い、おいしい実になるよ。

神様は、「良い実」になるよう、あなたにも  
毎日かかさず手入れなさるお方です。バサっと  
枝を切られると「痛い」はずだけど、そうしな  
がら成長していくんだね。

いの  
祈り

天のお父様、わたしが良い実をつけるた  
めに、手入れしてくださっていることを  
感謝します。

10月18日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・3  
あなたがたは、わたしが語った言葉  
によって既にきよくされている。3節

イエス様の言葉を、「信じます」と心から受  
け入れた人たちに、イエス様は「もうきよい」  
と言ってくださるお方です。

「ほんとうにわたしは救われたの？ 赦されて  
いないんじゃないの？ 天国にいけないんじや  
ないの？」と不安になっちゃうのは、わたした  
ちの弱さだね。

イエス様を信じたのに、罪が赦されなかつ  
た、ってことはありえないってことだね。

あなたもイエス様のお言葉によって、きよく  
されました。これを100%信じますか？

いの  
祈り

天のお父様、イエス様によって、罪が赦  
され、もうきよくされたことを100%信  
じます。

10月19日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・4～6

あなたがたもわたしにつながって  
いなければ実を結ぶことができない。  
4節

どんなに元気な枝でも、パチンと切り落とされたら枯れてしまうよね。それと同じで、せっかくイエス様を信じて新しい命をもらっても、イエス様につながりつづけていなければ、切り落とされた枝のようになっちゃうんだね。

人の心の中に、イエス様のように人と神様とを愛する愛はないよね。よ～し！今日こそ！とひとりでがんばっても、あつというまにしばいしちゃうね。「愛の実」を実らせるのってむずかしい！イエス様も、そんなわたしたちのことをよく知っておられるんだね。

祈り 天のお父様、イエス様につながって、「愛の実」を結ぶことができますように。

10月20日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・5

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。  
5節

「あなたの行いや思いや考え方が、そっくりそのままあなたという実」だと前に言ったけど、イエス様という木につながったあなたは、ぶどうの木からぶどうの実がなるように「イエス様の実」をつけるはず、ということだね。

枝が幹から栄養をたくさんもらって良い実をつけるように、イエス様から毎日たくさんの栄養（愛やみことば）をもらってください。

人を愛せないとき、赦せないときほど、イエス様がどう言われ、何をしてくださったか思いだしてください。とことん、イエス様にしがってみてください！

祈り 天のお父様、イエス様が言われたこと、なさったことを行えるよう、イエス様の愛で心をいっぱいにしてください。

10月21日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・7

わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。  
14節

世の中には、「わたしこそ木だよ」「わたしにつながればまちがいないよ！」というものがたくさんあります。「お金の木」「勉強の木」「恋の木」…あげればきりがありません。でも、それらの「木」につながっても、さんねん、人生が終わればなくなるし、心はどんどん自分勝手に、わがままで、疲れてしまうんじゃないかな。

たいせつなのは、まず、イエス様につながるということ、イエス様にしがうということ。

そうすれば、あなたの人生で必要なものはかならず与えられるからね！だいじょうぶ！

祈り 天のお父様、なによりもまず、イエス様につながる枝でいられますように！

10月22日（土）

聖書  
聖句

ヨハネ 15・8

わたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。  
8節

世界にすばらしいものはたくさんあるけど、いちばんほめられ、尊敬されるはずの神様をほめている人はどれくらいいるだろう？

じつは神様が栄光をうけるって、そういうことだよ。神様を信じているあなたが、イエス様のような「愛」の人になったのを見て、まわりの人もあなたも、「神様ってすばらしい！」とほめるようになることが必要なんだね！

「神様がわたしをこんなふうに変えてくれた！成長させてくれた！」ということを感じながら、毎日すごしていけますように！

祈り 天のお父様、あなたのすばらしさが、たくさんの人にわかるように、わたしを成長させてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 16・13～20  
キリストへの信仰告白  
あなたこそ、生ける神の子キリストです。マタイ 16・16

目標

イエス・キリストへの正しい信仰を告白する者となる。

10月23日（日）

聖書  
聖句

マタイ 16・13～20  
あなたこそ、生ける神の子キリストです。16節

「わたしはだれでしょう？」と、イエス様の質問です。「人々はわたしのことをだれと言っているのか」と弟子たちに尋ねました。彼らの口からいろんな答えが返ってきます。「バプテスマのヨハネ」、「エリヤ」、「エレミヤ」、「預言者のひとり」。イエス様は次に弟子たちの方を見つめて、「では、あなたがたはわたしをだれと言うか」と尋ねると、シモン・ペテロが答えます。「あなたこそ、生ける神の子、キリストです」と。「正解！」イエス様は満足されました。

いのちの祈り  
天のお父様、ペテロのように、私も「イエス様こそ生ける神の子、キリストです」と、心より信じて告白します。

10月24日（月）

聖書  
聖句

マタイ 16・13  
イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は人の子をだれと言っているか」。13節

イスラエルに詳しい人から聞きました、「ピリポ・カイザリヤはね、川がはじまる所で、ちょうど水が分かれる所にあるんだ。その場所でイエス様は大切な質問をしたんだよ」と。つまり、最初は同じ場所であっても、そこから、正反対に水が流れていくと、行き着く先は大きく違ってしまいます。イエス様は立派な預言者ですか？人間ですか？それとも神ですか？私たちは、イエス様を「生ける神の子、救い主」と信じて、救いの道を歩みましょう。

いのちの祈り

天のお父様、とても大切な信仰の告白「イエス様は神の子、救い主」と信じ告白させてくださり、感謝しています。

10月25日（火）

聖書  
聖句

マタイ 16・14～16  
それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか。15節

バプテスマのヨハネと言えば、イエス様より半年お兄さんで、イエス様のために道を備えた「人間」でした。エリヤは大いなる奇跡の数々を行い、偶像崇拝者と大胆に対決した預言者、つまり「人間」でした。エレミヤも涙の預言者、他の預言者たちもみんな「人間」でした。どんなに神様に用いられてもね。そこでイエス様は、弟子たちに、また今日、あなたにも尋ねられますよ。ペテロと一緒に「あなたこそ、生ける神の子キリストです」と、告白しましょう。

いのちの祈り  
天のお父様、イエス様は他のどんな人間とも違う「神の子キリストです」とハッキリと信じ、告白します。

10月26日（水）

聖書  
聖句

マタイ 16・15～16

シモン・ペテロが答えて言った、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」。  
16節

さすがペテロさん！ バッチリ、100%正解の答えでした。イエス様は、きっと内心ドキドキだったことでしょうね。まちがってはいけません。神様は生きておられます。その御子イエス様も、十字架にかかれましたが、三日目によみがえられて、生きておられます。いつもわたしと共に歩いていてくださいます。そして「キリスト」、「油注がれたメシヤ」、「救い主」なのです。ですから、わたしたちを罪から救ってくださいるとともに、毎日、救い続けてくださるのです。

いの  
祈り

天のお父様、今は私たちの目には見えませんが、イエス様が毎日共におられる、生きておられる救い主と信じます。

10月27日（木）

聖書  
聖句

マタイ 16・17

あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。  
17節

100%正解の答えをしたペテロさんに、イエス様は言われました。「バルヨナ・シモン、あなたは恵まれた、さいわいな人だよ。あなたにこの大切な 100%正解の答えをあらわしてくださったのは、どんな人でもない。また、あなた自身から出たものでもない、実は、天におられるわたしの父なる神様が教えてくださったことですよ」と。ちょっと得意顔だったペテロさんもそう言われて、「そうだ、そうだよな」って、うなずいて父なる神様に心から感謝したのでした。

いの  
祈り

天のお父様、あなたはいつも私たちの心を開いて、大切なことを教えてくださいますから本当に感謝です。

10月28日（金）

聖書  
聖句

マタイ 16・18

わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。  
18節

イエス様はつづいて大切なことをシモンに言われています。「あなたはペテロ（岩）だよ。そして、わたしはあなたが告白した信仰という岩の上に、わたしの教会を建てよう」と。イエス様の教会の土台は「この岩」です。つまり、「イエス様は生ける神の子キリストです」という信仰の告白なのです。そう信じてバプテスマを受ける人たちの集まり、それが教会です。その教会には黄泉の力も打ち勝つことはできないのです。何と心強いことでしょうか！

いの  
祈り

天のお父様、イエス様を「生ける神の子キリスト」と信じ告白する教会がいかに強いものかよくわかりました。

10月29日（土）

聖書  
聖句

マタイ 16・19

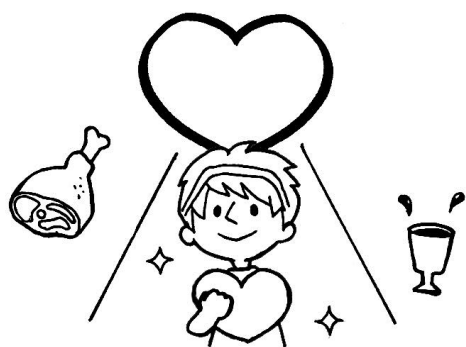
わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。  
19節

かぎの中のかぎ！ それが「天国のかぎ」でしょう。イエス様を「生ける神の子キリストです」と信じ告白する人は、天国のかぎが与えられ、やがて、天国に入れてもらえるのです。そればかりでなく、今も天国のかぎを自由に使って、天国の祝福をふり注いでもらうことができるのです。それが「お祈り」という天国のかぎです。あなたはよくお祈りをする子どもですか？ お祈りをすれば生きておられる神様ですから、必ずこたえてもらえるのです。

いの  
祈り

天のお父様、素晴らしい天国のかぎ（お祈り）を用いて、もっともっと天の祝福を注いでもらえますように。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ダニエル 1・8～16

世の汚れに染まず

自分を汚すまいと、心に思い定めた。ダニエル 1・8

目標

汚れに満ちた世にあって、きよい生き方を守る。

10月30日（日）

聖書  
聖句

ダニエル 1・8

自分を汚すまいと、心に思い定めた。8節

イスラエルがバビロンという国に滅ぼされたとき、たくさんのイスラエル人がバビロンにつれて行かれました。ダニエルと仲間たちは、バビロン王に仕えるためにつれて行かれました。そこで出された食事は、王様が食べるごちそうとお酒！ごちそうの中には、神様が食べてはいけない！と禁止された物もありました。「神様が禁止された食べものを食べて、自分を汚したくない。きよい生き方をしたい」。ダニエルはごちそうを食べないことにしました。神様が悲しむことはしない！と決心したのでした。

いの祈り 天のお父様、わたしもあなたが悲しむことはしない、と決心していきたいです。

10月31日（月）

聖書  
聖句

ダニエル 1・8

自分を汚させることのないように、宦官の長に求めた。8節

「どうか、王様が食べるごちそうを食べなくてもよいようにしてください！」。王様が食べるごちそうは食べない！と決めたダニエルは、王様のお世話をする宦官の長にお願いをしました。宦官の長はびっくり！こんなにおいしいごちそうは、ふつうは食べられないのに。

「神様を悲しませたくない。きよく生きていきたい！」と強い決心をしたダニエルは、黙っていないで、勇気をだして自分の願いを伝えました。神様の前にきよく生きるため、勇気をだして立ち向かったのです。これがほんとうの勇気。

いの祈り 天のお父様、わたしも神様の前にきよく生きるために、勇気をだすことができますように。

11月1日（火）

聖書  
聖句

ダニエル 1・9～10

あなたがたの健康の状态が、同年輩の若者たちよりも悪いと、王が見られることを恐れるのです。10節

ダニエルは勇気を出してお願いしましたが、お願いされた宦官の長は困った顔をして言いました。「あなたたちの食事は、王様が決めたのです。ごちそうを食べさせないで具合が悪くなったら、わたしが罰をうけるんです！」。さて、こまりました。せっかくのお願いが聞いてもらえそうにありません。

神様の前にきよく生きようとするとき、人間の都合でやめさせられそうになることがあります。宦官の長は、神様がどう思われるかより、人間である王様がどう思うかを考えたのです。

いの祈り 天のお父様、人ではなく、神様がどう思われるかを考えていけますように。

## 11月2日（水）



ダニエル 1・11～13

どうぞ、しもべらを十日の間ため  
してください。 12節

宦官の長に聞きいれてもらえなくても、ダニエルはあきらめません。今度は、ダニエルと仲間のお世話役のところへ行き、こう言いました。「どうか、十日間だけ、ためしにわたしたちに野菜と水だけ食べさせてください。ごちそうを食べる人とわたしたちをくらべてください！」。十日だけの、おためし期間をください、ということですね。

きよく生きることを決してあきらめないダニエルに、神様は知恵をあたえられたのです。お世話役の家令はダニエルの熱心に負けて、十日間だけ野菜と水を出すことにしました。

**いのちの祈り** 天のお父様、わたしもきよく生きることをあきらめることがないよう、助けてください。

## 11月3日（木）



ダニエル 1・14～15

彼らの顔色は王の食物を食べたすべての若者よりも美しく、また肉も肥え太っていた。 15節

ダニエルたちは十日間、野菜をモリモリ食べ、水をゴクゴク飲みました。ほかの若者たちは王様が食べるごちそうを食べました。十日がすぎて、さあ、ダニエルたちの健康チェックの始まりです。そうしたらなんと！ごちそうを食べている若者たちより、ダニエルたちのほうがお肌がツルツル！身体もガッシリ！元気いっぱいでした！

神様はダニエルたちに、誰よりも健康な身体をくださいました。きよい生き方を求めたダニエルたちを、神様は祝福してくださったのです。

**いのちの祈り** 天のお父様、きよい生き方には、神様の祝福があることを知りました。感謝です！

## 11月4日（金）



ダニエル 1・14～16

家令は彼らの食物と、彼らの飲むべき酒とを除いて、彼らに野菜を与えた。 16節

健康なダニエルたちを見た家令は、すっかり感心してしまいました。そこで家令は、ごちそうとお酒を出すことをやめて、野菜と水だけ出すことを決定！十日間だけではなく、ずっと水と野菜を食べることになったのです。

ダニエルの願ったとおり、きよい生きかたができるように、生活する場所が変えられました。わたしたちも、神様の前にきよく生きたいと願うなら、神様は生活する場所まで、きよくつくり変えてくださるのです。

**いのちの祈り** 天のお父様、わたしがきよい生きかたができるように、生活するところをきよくつくりかえてください。

## 11月5日（土）



ダニエル 1・8～16

自分を汚すまいと、心に思い定めた。 8節

ダニエルがつれて行かれたバビロンという国は、本当の神様を信じないで偶像礼拝をしたり、神様を悲しませる罪の汚れでいっぱいでした。しかし、そんな中でもダニエルは神様を心から愛しました。神様の前できよく生きることを決してあきらめず、神様に祝福されました。

わたしたちの周りも、神様が悲しまれる罪、汚れでいっぱいです。しかし、ダニエルのようにきよく生きることを願うなら、神様は必ず知恵を与えてくださいます。さらに、あなたを祝福してくださいます！さあ、ダニエルに続こう！

**いのちの祈り** 天のお父様、あなたが悲しまれる汚れから守ってください。きよい生き方とおして、あなたの祝福を体験したいです。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ダニエル 3・8～25

たといそうでなくても

たといそうでなくても…わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません。

ダニエル 3・18

目標

神の守りを信じつつ、どんなことがあっても神にのみ仕える者となる。

11月6日(日)

聖書  
聖句

ダニエル 3・8～25

わたしたちの仕えている神は、その火の燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。 17節

みんながやってるから、私もしなきゃというのはかなりちがった生き方をするのが、まことの神様を信じる人たちです。ここの三青年がそうでした。27ドルもの、どでかい金ピカの像をネブカデネザルは建て、音楽とともに拝ませました。でも三青年は拝みません。「もし、拝まないなら火の燃える炉の中に投げ込む」と言われてもです。彼らは自分たちが信じて仕えている神様は救ってくださると徹底的に信頼しました。たとい死ぬとしても、金の像は拝みませんと！

いの祈り

天のお父様、目に見えないあなたを信頼するのはとても難しいですが、見えるものに惑わされずあなたに信頼します。

11月7日(月)

聖書  
聖句

ダニエル 3・1～7

ネブカデネザル王は一つの金の像を造った。 1節

王の頭の中には、あの夢のことがきつとぐるぐる回っていて忘れられなかったのでしょうか。そして思い立って、一つの金の像を造りました。高さ27ドル、幅2.7ドルという、それはそれは巨大なものでした。しかも、あの夢とは全然ちがって、頭のとっぺんから足のつま先まで、金ピカだったのです。「ワシの国はいつまでも続くのじゃ、すべての者はひれ伏して拝め——」と、まるで、天のまことの神様への大反逆の姿ではありませんか！

いの祈り

天のお父様、ダニエルによる夢解きにもかかわらず、王はそれを無視しました。あなたのみ恐れさせてください。

11月8日(火)

聖書  
聖句

ダニエル 3・8～12

その時、あるカルデヤびとらが進みきて、ユダヤ人をあしざまに訴えた。 8節

ダニエルの夢解きの前から、若くて美しくて賢い四人の青年たちは、王のお気に入りである王の前にはべっていました。おまけにあの夢解きのおかげで、ダニエルには高い位が授けられ、贈り物まで与えられ、バビロン全州の総督とされました。このダニエルの願いによって三青年もバビロン州の事務をつかさどるようになりました。バビロンの人々は大いにねたんで、ネブカデネザル王に訴えました。「あの事務をとる三人はあなたの金の像を拝みません」と。

いの祈り

天のお父様、いつでも神様を信頼し従う者、祝福されている人をアクマはねたむのだとよくよく悟りました。

## 11月9日（水）

聖書  
聖句

ダニエル 3・13～18

たといそうでなくても、主よ、ご承知ください。わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません。 18節

まことの信仰は、ご利益信仰ではありません。救ってくれるから信じるのでも、願いを聞いてくれるから信じるのでもありません。神様がまことの神様だから、恐れ敬い、従うのです。この神様以外のものは拝まないのです。たとい救ってくださらなくて、火の燃える炉の中で死ぬようなことになろうとも、私たちは王の神々に仕えず、主の立てた金の像を拝みませんという、まさに命をかけた本物の信仰なのです。

いの

祈り 天のお父様、三青年のスゴミのある信仰の姿勢は立派です。私にもそのような筋金入りの信仰を養ってください。

## 11月10日（木）

聖書  
聖句

ダニエル 3・19～23

シャデラク、メシャク、アベデネゴの三人は縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。 23節

ネブカデネザル王はカンカンに怒って、三青年にむかって顔色を変えてしまうほどでした。そして「炉の温度を平常よりも7倍も熱くせよ」と命令しました。きっと王の顔もまっかっかだったのでしょうか。力の強い人々が三人をそのまましばって、炉のそばまで行きました。すると、あまりに熱く熱く燃えていたので、引きつれて行った人々はその炎で焼き殺されてしまったのでした！！三青年は、しばられたまま、心静かにその火の燃える炉の中に落ち込んでいきました。おお！！

いの

祈り 天のお父様、三青年の、あなたへの何という信頼！その落ち着き、その姿は言葉にできないほどのものです。

## 11月11日（金）

聖書  
聖句

ダニエル 3・24～25

その第四の者の様子は神の子のようだ。 25節

ガバツと突然立ちあがるネブカデネザル王！「われわれはあの三人をしばって、火の中に投げ入れたのではないか。」「王よ、そのとおりです」。王は目をこするかのようにして、目を血のようにして叫びます、「ややっ、四人じゃ。なわめもなしに火の中を歩いているぞ。どうしたとか、なんの害も受けておらんぞ。その第四の者…うーむ、神の子のようだ。王様は全くなってしまうました。そう、実は神の子イエス様が彼らと共に歩き、救ってくださったのです。

いの

祈り 天のお父様、やっぱり、何というあなたらしいみわざでしょうか。信頼する者をはずかしめないあなたをほめたたえます。

## 11月12日（土）

聖書  
聖句

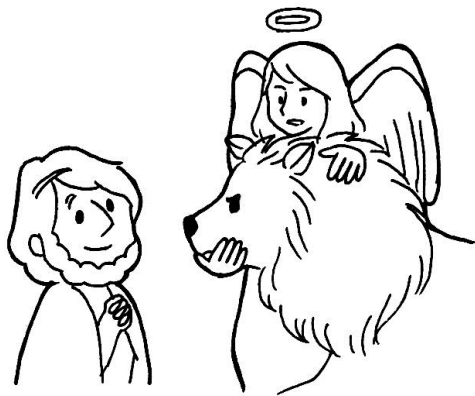
ダニエル 3・26～30

その頭の毛は焼けず、その外套はそこなわれず、火のにおいもこれに付かなかった。 27節

マッチの火で髪の毛を焼いたり、まつ毛やまゆ毛を焼いたりしたことのある人、いるでしょう？ ストーブやたき火の近くでつい洋服をこがしたりしたことのある人もいるかな？毛はちりちりになるだけでなく、こげ臭いにおいがします。洋服だって同じですね。ところがです！ふだんより7倍も熱くしている火の燃える炉の中にそのままほうり込まれたのに、火のにおいも付かなかったなんて！！全く、完全勝利でした！まことの神様のみわざはただスゴイ。

いの

祈り 天のお父様、捕われの地、偶像の地で、三青年を用いてあなたがあざやかに栄光をあらわされ、感謝します。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ダニエル 6・1～24

神礼拝を 貫く

わたしの神はその使をおくって、  
ししの口を閉ざされた。

ダニエル 6・22

目標

圧迫や迫害の中でも神への礼拝  
を 貫く。

11月13日(日)

聖書  
聖句

ダニエル 6・24

わたしの神はその使をおくって、  
ししの口を閉ざされた。 22節

動物園やサファリなんかで、遠くから、「ガ  
オーツ」ってほえてるライオンを見るのは平気  
だけど、そのライオンが何匹も目の前にやって  
きたら、恐くて、気絶してしまいます。そんな  
ライオンの穴に入れられたダニエルのお話で  
す。ダニエルのことをねたんで、わなにかけて、  
ししの穴の中に投げ入れたのです。王は一晚  
中、全然眠れず、朝になって穴に近づいて声を  
かけると、元気なダニエルの声！「王様、わた  
しの神がししの口をふさいで、これ、この通り  
わたしはピンピンしています」と。

いの  
祈り

天のお父様、ダニエルのように、わたし  
もあなたを、「わたしの神」と信じお頼  
りし、お従いしお仕えいたします。

11月14日(月)

聖書  
聖句

ダニエル 6・1～5

彼が忠信な人であって、その身にな  
んのあやまちも、とがも見いだされな  
かったからである。 4節

勉強や運動がよくできたり、先生にほめられ  
ているお友だちを見たりしたら、あなたは一緒  
に喜んであげられます？ それともあまりい  
い気がなくてねたむ心になりますか？ ダ  
ニエルはとても優秀な人で、王様のお気に入り  
となり、全国を治めるような所にまで引き  
立てられたのです。総監や総督らは何とか訴  
える口実を捜そうとしても見つかりませんで  
した。こうなるとダニエルの神の律法に関して  
見つける他ないと考えます。ねたみというの  
はとても恐ろしいものです。

いの  
祈り

天のお父様、ねたまれることはあっても、  
決してねたむ者になることがないよう  
にわたしの心をお守りください。

11月15日(火)

聖書  
聖句

ダニエル 6・6～9

そこでダリヨス王は、その禁令の  
文書に署名した。 9節

おだてられたり、ちょっと持ちあげられたり、  
ほめられたりするとあぶないから要注意！ こ  
このダリヨス王がそうでした。まんまと総監や  
総督らのわなにひっかかってしまったのです。  
「今から三十日の間は、ただ、王様、あなた  
にのみ願い事をさせ、もしあなたをおいて、神  
または人にこれをなす者があれば、すべてその  
ものを、ししの穴に投げ入れるという、このこと  
に同意して、禁令の文書に署名してください」  
と。王様は少しいい気持ちで署名しました。

いの  
祈り

天のお父様、自分がほめられたりする時、  
心にすぎがで、悪魔のわなに陥りや  
すくなるので注意します。

## 11月16日(水)

聖書  
聖句

ダニエル 6・10～13

以前からおこなっていたように、一日に三度ずつ、ひざをかがめて神の前に祈り、かつ感謝した。 10節

もしあなたがただったらどうしますか？ そのような文書が署名されたことがわかっていたら…？ 窓を閉じて、誰にも見られないようにお祈りしたらいいじゃないと思いますか？ ダニエルはというと、二階の部屋の、エルサレムに向かって窓の開かれた所で、誰にでも見られる所で、以前からずっとおこなっていたように、一日に三度ずつ、ひざをかがめて神の前に祈り、かつ感謝したのです。「見た！ 見えたぞ！」彼らはさっそくに王の前に出かけました。

いの  
祈り

天のお父様、どんな中でも、ダニエルの祈りの習慣はすしも変わりませんでした。わたしもなっていていきたいです。

## 11月17日(木)

聖書  
聖句

ダニエル 6・14～18

そこで王は命令を下したので、ダニエルは引き出されて、ししの穴に投げ入れられた。 16節

「な、なんと、あのダニエルがわしの署名した文書の禁令をやぶってしまったというのか！ 一日に三度ずつ、祈をささげていると…」王はとても大きな悩みと悲しみをかかえてしまい、何とかダニエルを救いたいと、夕方、日が沈むころまであれこれ考えました。しかし、その努力もむだになってしまい、ダニエルを訴える人々はまた王のもとに集まってきて、もはや禁令は変えられませんかと迫ります。ついに王の命令により、ダニエルはししの穴に――。

いの  
祈り

天のお父様、「あなたの常に仕える神が、あなたを救われるように」との王の言葉がとても心にひびきます。

## 11月18日(金)

聖書  
聖句

ダニエル 6・19～24

彼が自分の神を頼みとしていたからである。 23節

小さいお友だちや若い人たちは、夜、全然眠れないなんてことはないでしょう。ここでダリヨス王は、さすがに食べられない、眠れない夜をすごしたのです。朝早く外に出て、ししの穴へ急ぎ、近づいて、「生ける神のしもべダニエルよ」と、もしかしたらライオンにかみ砕かれているかも、と想像しながら悲しそうに呼びました。すると、中からダニエルの元気な声！ 本当に彼が頼みとしていた神が救ったのです。

いの  
祈り

天のお父様、あなたを頼りとする者のためにはライオンの口さえ閉ざされるとは！ 本気であなたに信頼していきます。

## 11月19日(土)

聖書  
聖句

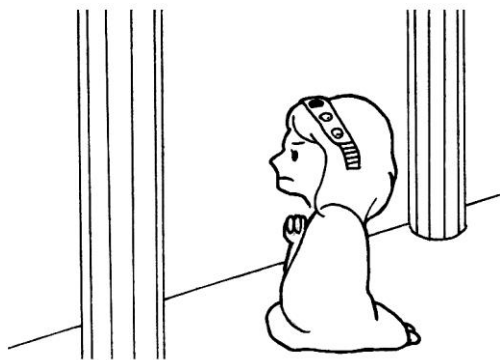
ダニエル 6・23～28

わが国のすべての州の人は、皆ダニエルの神を、おののき恐れなければならない。 26節

ねたんだり、人をおとし入れたりする人に、神様のおとり扱いはとても厳しいです。ダニエルを訴えた人々は、奥さんも子どももみんな、ししの穴に投げ入れられ、ししはとびかかって、骨までもかみ砕いたとあります。しかし、神様をいつでも、どんな時でも、第一にしていたダニエルを、神様は、ししの口からも完全に守られただけでなく、まことの神を拝まないダリヨス王とその国の人々の前に、「ダニエルの神」が高く高くあがめられました。

いの  
祈り

天のお父様、あなたを心から信頼する者が守られるだけでなく、あなたのみ名があがめられることを覚えます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

エステル4・1～17  
エステル  
わたしがもし死なねばならない  
のなら、死にます。

エステル4・16

目標

神からの使命を命がけで果た  
す者となる。

11月20日(日)

聖書  
聖句

エステル4・16

わたしがもし死なねばならないの  
なら、死にます。 16節

なにが本当に正しいのかしっぴりかんがえ  
て、それをしようと心でしっぴりときめるこ  
とを決断といいます。ときどき、わたしたちも  
「決断」しないといけないときってあるね。

エステルも、大きな決断をしなければなりま  
せませんでした。かんたんじゃなかったよ、自分の  
命を守るか、自分が死んだとしてもしなけれ  
ばならないか、というくらいなもの！そして、  
自分の命をかけることをえらんだんだね！

あなたも、たいせつなときに、本物の決断、  
神様の喜ぶ決断をしよう！

祈り

天のお父様、わたしにも、ここだとい  
うときに、エステルのように本物の決断が  
できる強さをください。

11月21日(月)

聖書  
聖句

エステル4・1～3

ユダヤ人のうちに大いなる悲しみ  
があり、断食、嘆き、叫びが起り、  
また荒布をまとい、灰の上に座する  
者が多かった。 3節

いったいどうしたの！？じつは、本当の  
神様を信じるユダヤ人のモルデカイが、ペル  
シャの大臣ハマンにひざまずかなかったので、  
それを気に入らないハマンがユダヤ人をみな  
ごろしにする計画をし、王様にうまく言って  
命令を出させたのです！ユダヤ人たちは神様  
にむかっていのり、さげびました。

いつの時代にも、神様を信じる人たちを苦し  
めようとする人はいるけれど、そんなとき、  
平気でいてはいけません。神様にむかって心  
からお祈りし、助けてくださいと叫ぶのです。

祈り

天のお父様、あなたを信じる人が苦しむ  
とき、心から祈れますように。

11月22日(火)

聖書  
聖句

エステル4・4～8

モルデカイは自分の身に起ったす  
べての事を彼に告げ…彼女に言い伝  
えよと言った。 7～8節

モルデカイもふかく悲しみました。でも、ほ  
かのユダヤ人とはちょっとちがうね！

モルデカイは、自分がこれからどんなことを  
すればいいのかわかっていたのです。お城にい  
るエステルはまだ、ユダヤ人がみんな殺される  
命令を知りません。そこで、エステルにこのこ  
とを知らせ、王様にハマンの悪い計画をつたえ  
ようとしたのです。そして、ちゃんとしたし  
ょうこもエステルに知らせたのです。

危険な中でも、知恵をはたらかせ、おちつい  
て行動したモルデカイの心の中には、神様へ  
の強い信仰とユダヤ人への愛がありました。

祈り

天のお父様、危険なとき、あなたを強く  
信じ、おちついて行動できますように。

## 11月23日（水）

聖書  
聖句

エステル4・9～11

しかしわたしはこの三十日の間、  
王のもとへ行くべき召をこうむら  
ないのです。 11節

モルデカイの伝言を聞いたエステルは、一つ  
のことを心配していました。ペルシャの国の  
王様によばれないで会いに行くなら、どんな人  
も死刑になること。でも、王様が金の笏をこ  
ちらへさし出してくれたら、ゆるされる、とい  
うきまりがあったのでした。

エステルは、ペルシャの王様にいちばん愛さ  
れているお妃でした。そんなエステルでもど  
うなるかわからないのです。ただ、エステルは  
まだ気づいていないことがありました。沢山の  
ユダヤ人の心配よりも、自分がどうなるか、と  
いう心配をしているということでした。

いの  
祈り

天のお父様、自分のことでなく、みんな  
を心配することができますように。

## 11月24日（木）

聖書  
聖句

エステル4・12～13

あなたは王宮にいるゆえ、すべての  
ユダヤ人と異なり、難を免れるだろ  
うと思っ**て**はならない。 13節

あなたには毎日やらないといけないことが  
たくさんあるね。宿題や勉強、ならいごと、  
クラスでの係り、だれかとのやくそく…そうい  
うことをくりかえしながら成長するんだね！

でも、せきにんをわすれると、大人の人から  
怒られるでしょ？ あなたをビシッとしかる人、  
まちがいをなおしてくれる人のこと、「うるさ  
いな」なんて思っ**て**ませんか？ 自分のまちが  
いを教えられたら、そのことに早く気づき、す  
なおに従える心をもっていてくださいね！

いの  
祈り

天のお父様、怒ってくれる人にも感謝し  
て、自分のせきにんを思いだし、従え  
ますように。そして、成長していけま  
すように。

## 11月25日（金）

聖書  
聖句

エステル4・14

あなたがこの国に迎えられたのは、  
このような時のためでなかったとだ  
れが知りましょう。 14節

モルデカイは、エステルに、せきにんのこと  
だけを教えてくれたのではありません。

エステルが動かないなら、ちがう方法でユダ  
ヤ人を助ける神様への信仰、そして、エステル  
がユダヤ人でペルシャ王妃になれた理由、です。

だれもがとくべつな立場や役割をもらっ  
たら、自分のためだけのものとかんがえやすいね。

でも、神様はあなたが、その立場と役割をみ  
んなのために使**っ**てほしいとねがっておられ  
ることを、わすれないでくださいね！

いの  
祈り

天のお父様、もし、とくべつな立場や  
役割をもらったら、そのときはわたしの  
ためではなく、だれかのために使えま  
すように。

## 11月26日（土）

聖書  
聖句

エステル4・16

スサにいるすべてのユダヤ人を集  
め、わたしのために断食してくだ  
さい。 16節

ペルシャの王様からいちばん愛され、大切に  
されていたエステルだったけれど、なんでも  
自由でわがままにしてい**い**とか、わたしなら大  
丈夫だわ、なんて思っ**て**はいなかったよ。それ  
どころか、みんなといっしょに神様の前に必死  
にお祈りして、知恵や力をもらえなければ、  
なにもできない**い**っ**て**思っ**て**いたんだね。

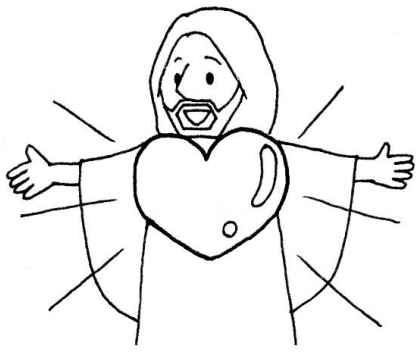
わたしたちは、「自分の力」ででき**る**と思っ  
たり、生きてい**る**と思うことがあるかもしれ  
ないね、でもそれはちがうよ。神様は、あなたの  
命や人生を動かされるお方。あなたのいのり  
にかならずこたえてくださるお方です！

いの  
祈り

天のお父様、大切なことのために、知恵  
と力をあたえてください。



## I アドベント



聖書

ヨハネ 1・1～5、9～14

テーマ  
暗唱聖句

すべての人を照らす光  
すべての人を照すまことの光が  
あって、世にきた。

ヨハネ 1・9

目標

光なるキリストを信じ受け入れる。

## 11月27日(日)

聖書

ヨハネ 1・1～5・9～14

すべての人を照すまことの光が  
あって、世にきた。 9節

いよいよIアドベント、克蘭ツのろうそくが一本ともりました。クリスマスシーズンで、目立つもう一つのこと、**「光」**ですね！ キヤンドルの光、イルミネーションの光、星の光です。24日のイヴには燭火礼拝をする教会も多いでしょう。これは何を示しているかというと、キリストは光として来られたということです。「すべての人を照すまことの光」としてね。キリストこそまことの光で、心の影、罪を示し、ゆるし、きよい心で正しい道を歩めるようにしていただきます。

いのちの祈り

天のお父様、このクリスマスに、光なるイエス様を信じ受け入れて、光の子とされ、光の中を歩んでいきたいです。

## 11月28日(月)

聖書

ヨハネ 1・1～2

聖句

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。 1節

すべてのことには「初め」がありますね。あなたが教会に来たのはいつなのかな？ あなたが「初めて」この世界に誕生したのが、あなたの誕生日ですね。この世界の「初め」というのはどうだったのかな？ 「初め」に言があったということです。この言というのはギリシャ語では「ロゴス」と言って、実はイエス様のことを指しているのです。「初め」にイエス様がいて、神様と共におられて、イエス様も神様であったということになります。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様は神様であって、あなたと共に世界のできるその前、「初め」におられたと知りました。

## 11月29日(火)

聖書

ヨハネ 1・3

聖句

すべてのものは、これによってできた。 3節

おもちゃでもゲームでも何でも、「コレ、どうやってだれが作ったのかな？」って思うでしょう。じゃ、「この世界、いや大宇宙、そしてその中にあるすべてのもの——こう書くのは簡単だけど、大変な量だし、大変な種類だし、大変込み入って複雑にできてますよ——はどうやって、だれがつくったのだろう？」と考えたら・・・？ここにパンッ！と答えが記されています。すべてのものは、これ、もっと良い言い方は、この方によって、つまりイエス様によってできたのです！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様がどんなにか力強く、知恵に満ちたお方かわかり、感謝してしまいます。学ばせてください。

# 11月30日(水)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・4～5

光はやみの中に輝いている。そして、  
やみはこれに勝たなかった。 5節

だれもいないまっ暗なお部屋にひとりであつていくのは恐いですか? 「暗いろうかを通して、ひとりでトイレに行くのも恐いよー」という子もいるでしょう。その時、ライトがあるとパッと明るく照らしてくれて安心ですね。暗いお部屋も電気をつけるとパッと明るくなって、やみはなくなってしまう。イエス様は光です。罪のやみを追い払ってください。やみの力、サタンの力もイエス様には勝てません。光なるイエス様を信じると毎日が勝利です。

いの  
祈り

天のお父様、命であり、光であるイエス様をこの地上におつかわしくくださり感謝します。信じて従っていきます。

# 12月1日(木)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・9～11

彼は自分のところにきたのに、自分の民は彼を受け入れなかった。 11節

あなたが「オギャーッ!」って生れた時、お父さんもお母さんも、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄さん、お姉さんもととても喜んで、「ウエルカムー!」って、大歓迎だったにちがいありません。お家の人に聞いてみてください。イエス様の時はどうだったでしょうね? 残念ながらウエルカムではありませんでした。ここで自分の民と書かれているユダヤ人たちは、イエス様を受け入れなかったばかりか十字架につけてしまいました。今も受け入れていないのです。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのひとり子イエス様を受け入れない人たちがいることを知りました。私は受け入れたいです。

# 12月2日(金)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・12～13

彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。 12節

しかし、がっかりすることはありません。光なるイエス様を受け入れる人々、イエス様のお名前、つまり救い主を信じる人々が次々と起こってきているからです。あなたもその中のひとりですか? そのような人々には、「神の子」となる力、特権をイエス様が与えてくださるのです。すごいですね、「神の子」ですよ! 血すじとか、人間の欲とかによって生まれたのではなく、ただ純粋に神様によって生れた「神の子」なのです。父なる神様ありがとうございます!

いの  
祈り

天のお父様、あなたのひとり子イエス様を信じ受け入れる時、私も神の子としてくださって、感謝いたします。

# 12月3日(土)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・14～18

それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまことに満ちていた。 14節

「言なるイエス様はね、私たちと全く同じ肉体をもつ人となって、私たちの中に来てくださったんだよ。でもねイエス様は栄光に輝いておられるんだ。まぶしいくらいにね。それは輝く天におられる父のひとり子としての栄光。そう、めぐみとまことに満ちた栄光なんだよ」と愛の弟子ヨハネは言います。愛とやさしさと真実がイエス様の中からあふれ出て、栄光に包まれておられたのですね。私たちもみ言葉を心に覚え、お祈りしてそんな人になりたいね。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様のように、あなたの栄光を輝かせていける、神の子として生きていきたいと祈ります。

## Ⅱ アドベント



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 1・29～37  
神の小羊キリスト  
見よ、世の罪を取り除く  
神の小羊。ヨハネ 1・29

目標

神の小羊キリストを信じ、罪の  
赦しを頂く。

# 12月4日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 1・29～37

見よ、世の罪を取り除く神の小羊。  
29節

初めてのお友だちと会う時、お互いに「自己紹介」をします。ちょっと恥ずかしくて苦手、という人もいますか。他の人を紹介してあげるのを「他己紹介」と言います。おもしろいひびきだけど！バプテスマのヨハネさんはここで、イエス様が自分の方に歩いてこられるのを見て、イエス様の「他己紹介」をしたのでした。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」とね。それにしてもとても珍しく、不思議な紹介だと思いませんか。今週、それを調べてみましょう。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様が「世の罪を取り除く神の小羊」であることが、よくわかって信じられるようにしてください。

# 12月5日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 1・24～28

わたしは水でバプテスマを受けるが、あなたがたの知らないかたが、あなたがたの中に立っておられる。 26節

「知らない人について行ったらいけませんよ！」って、今頃はうるさいほど言われますね。ここに登場する「知らない人」とは、何と！イエス様ではありませんか！バプテスマのヨハネも、「わたしはこのかたを知らなかった」（31）と言っていますし、そこにいたみんなも「知らない人」イエス様でした。30才になるまでは、お父さんのヨセフの大工仕事をお手伝いしていましたから、知られていなかったのですね。ヨハネの紹介で知られていくのです。

いのちの祈り

天のお父様、私も誰かにちゃんと教えてもらわないと、イエス様のことがよくわかりません。教えてください。

# 12月6日（火）

聖書  
聖句

マタイ 3・13～17

すると、見よ、天が開け、神の御霊がはどのように自分の上に下ってくるのを、ごらんになった。 16節

もうあなたは洗礼を受けましたか？ここは、イエス様が洗礼を受けられた場面です。バプテスマのヨハネは、「逆ではないですか。わたしこそあなたから洗礼を受けるはずです」と言うのと、「ちゃんと正しいことをしたいので今は授けてください」と言われるイエス様に、ヨハネはヨルダン川で洗礼を受けました。すると、天から神の御霊がはどのようにイエス様の上にくだり「これはわたしの愛する子」と、天の父の声が聞こえてきたではありませんか！

いのちの祈り

天のお父様、あなたの御子イエス様の洗礼は、本当に特別なものであったことがよくわかりました。

## 12月7日(水)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・29～34

わたしは、御霊がはどのように天から下って、彼の上にとどまるのを見た。  
32節

わたしたちが、この眼で見るものや心の眼で見るもので、一生涯、心と頭の中に焼きついていて消えない、忘れないものっていくつかあるでしょう。あなたにもありますか？バプテスマのヨハネさんにとっては、きっとイエス様の洗礼式だったと思います。「御霊がはどのように下って」イエス様の上にとどまった！父なる神様のお言葉(33)を思い出し、「ああ、この方だ、この方こそ神の子だ」と信じ、あかししました。ヨハネは光榮に震えましたね。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様に洗礼をさすけたヨハネの感動が、私の心にも強く伝わってきます。

## 12月8日(木)

聖書  
聖句

マタイ 27・45～50

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

「世の罪を取り除く神の小羊」という紹介のとおりイエス様は、終わりに十字架にかかってくださいました。

33才という若さで。昔、小羊が人間の罪を負って、焼かれて、殺されるという儀式がありました。その小羊のように、イエス様は「神の小羊」として、十字架の上に犠牲のささげものとなってくださったのです。十字架の上での七つのみ言葉のまん中、四番目のこのみ言葉で、私たちの罪を負い、神様から完全に捨てられたのがわかります。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の叫びに、「それは私のためです」と、全人類が叫ばなければならないことを知りました。

## 12月9日(金)

聖書  
聖句

ヨハネ 19・28～30

イエスはそのぶどう酒を受けて、「すべてが終わった」と言われ、首をたれて息をひきとられた。 30節

小羊が一匹でも、刺されて血を流して死んでいくのを見るのはつらいことです。私の罪の身代わりだと思えば、よけいにね。イエス様は、一つも罪を犯さなかったのに、わたしに代わって、十字架にかかってくださり、両手両足、頭からも大量の血を流してくださいました。罪のない血を！十字架の上で。六番目におっしゃった、今日のみ言葉は「完了した！やり遂げた！」という叫びで、イエス様の血のゆえに、完全に罪が赦される道が開かれたのです。

いのちの祈り 天のお父様、罪とは何と恐ろしいものでしょう！私の罪を取り除いてくださる神の小羊イエス様を感謝します。

## 12月10日(土)

聖書  
聖句

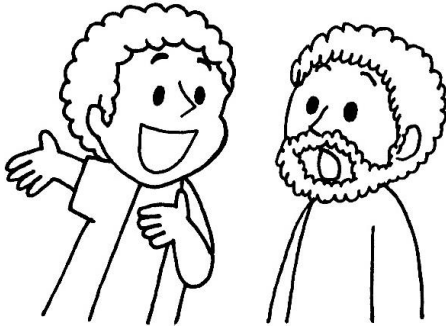
I ヨハネ 1・5～10

そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。 7節

罪ほど私たちの心を暗くし、重くし、苦しくし、みじめにするものはありません。自分の力や、ましてや他の人の力ではどうにもなりません。だから、神様が「世の罪を取り除く神の小羊」イエス様をこの地上に、私のために送ってくださったのです。罪を告白して(9)、赦していただきましょう。もし失敗したとしても、またおわびして赦してもらいましょう。「きよめつづける」血潮を信じましょう。罪を犯したくない心にしていただきましょう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様による罪の赦しをありがとうございます。いつもきよく歩めますように。

Ⅲ アドベント



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 1・37～42  
キリストを証しする  
わたしたちはメシヤ(訳せばキリスト)にいま出会った。

目標

ヨハネ 1・41  
キリストに出会い、キリストを証しする者となる。

# 12月11日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・37～42  
わたしたちはメシヤ(訳せば、キリスト)にいま出会った。 41節

「見よ、神の小羊」(36) だって!? バプテスマのヨハネが見つめながらそう言った、その人はどんな人? と、ヨハネと一緒にいたふたりのお弟子さんたちは興味シンシン。ふたりはその人について行ったのです。それに気づいたイエス様はふり向いて言われました。「何か願いがあるのか」と。ふたりはイエス様の泊まっておられるところに一緒に泊まりました。ふたりのうちのひとりにはペテロの弟 アンデレ。「メシヤに出会った」と兄に告げたのです。

いの祈り 天のお父様、一晩イエス様とともに泊まっただけで、メシヤだと信じ、ペテロに告げたのにはとても驚きです。

# 12月12日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・35～39  
イエスは彼らに言われた、「きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう。」 39節

イエス様について行ったふたりのお弟子さんたちは、「先生、どこにおとまりなのですか」とたずねました。するとイエス様は、「きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう」とおっしゃって、ふたりは喜んでついて行って、その日はイエス様と一緒に泊まったのです。そして、「メシヤだ」とわかったのですね。「教会って何するところ? どんなところ?」と聞かれたら、「きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう」って、答えてあげましょう。

いの祈り 天のお父様、イエス様のお誘いの言葉がとても気に入りました。私もそう言って教会にみんなを誘いたいです。

# 12月13日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・40～42  
そしてシモンをイエスのもとにつれてきた。 42節

あなたもお家の人や、お友だちを、教会へ、つまりイエス様のもとにつれてくる子どもですか? アンデレは、まず一番に兄のシモンに出会って、「いまメシヤに出会ったよ」と言い、すぐにシモンをイエス様のところにつれて行ったのです。イエス様はシモンに暖かい目をそそいで、将来、力強い岩のような人にしてあげるよとおっしゃってくださいました。アンデレのおかげで大使徒ペテロが造られたのですね。私たちもあの人この人と誘いましょう。

いの祈り 天のお父様、私もアンデレのように、素晴らしいイエス様のもとに、たくさんの人をおつれしてきたいです。

## 12月14日（水）



ヨハネ 1・43～44

イエスはガリラヤに行こうとされたが、ピリポに出会って言われた、「わたしに従ってきなさい」。 43節

「わたしに従ってきなさい」とイエス様に言われて、ついて行ったピリポは幸せでした。今は天におられる山田晴枝先生は三人姉妹の末っ子でした。いつでもふたりの姉たちのあとを追っては仲間に入れてほしかったのに、「ついて来ないで！」と言われていたのです。ところがイエス様は晴枝さんに、「わたしについてきなさい、従ってきなさい」と言ってくださると、大感激し、イエス様のために献身し、素晴らしいお働きをされました。感謝です。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様は今も、「わたしに従ってきなさい」と招いてくださいます。私もついて行きます。

## 12月15日（木）



ヨハネ 1・45～51

ピリポは彼に言った、「きて見なさい」。 46節

いつでも、みんながみんなすぐに「ハーイ！」と言ってイエス様のところにくるわけではないようです。ピリポが声をかけたナタナエルという人がそうでした。「モーセや預言者がしているヨセフの子、ナザレのイエスにいま出会った」とピリポが言うと、「ナザレから、なんのよいものが出ようか」と少し見下げられました。でもピリポも「きてみなさい」と負けません。イエス様がナタナエルとお出会いして、会話してナタナエルは納得したのです。

いのちの祈り

天のお父様、教会でしっかりイエス様とお会いし、アンデレやピリポのようにみんなをつれてこられますように。

## 12月16日（金）



ヨハネ 4・13～26

イエスは女に言われた、「あなたと話をしているこのわたしが、それである」。 26節

もう一人、イエス様と出会い、イエス様をあかしした人を見ましょう。どういう名前の女の人かはわかりません。サマリヤという町の人なので、サマリヤの女と呼ばれます。暑い夏の12時過ぎ、たったひとり井戸の水をくみにきて、この女の人イエス様と出会いました。実はイエス様が会ってくださったのです。罪の生活をチェックされ、礼拝のお話になり、メシヤのお話になった時、「わたしがそのメシヤだよ」と言われて、女の人ビックリでした。

いのちの祈り

天のお父様、誰でもイエス様とお会いすると、本当に満足し、生き方がガラッと180度変わってしまいます。

## 12月17日（土）



ヨハネ 4・27～30

さあ、見にきてごらんない。もしかしたら、この人がキリストかも知れません。 29節

人目を避けて、真昼間、水をくみに井戸にやってきたのに、この女の人水がめをそのままそこにほっぽり出して、急いで大勢の人たちのいる町に入行って、しかも大声で叫びましたよ！「わたしのしたことを何もかも、言いあてた人がいます。さあ、見にきてごらんない」と。女の人の興奮した様子が目に浮かぶようですね。その声を聞いた人々は、町を出て、ぞくぞくとイエス様のところへ行ったのです。本当に私たちもゾクゾクしますね。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様にお会いしたらもう黙ってなんかいられません。もっともっとみんなに伝えていきます。

# IVアドベント



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 2・1～11

変化をもたらすキリスト

イエスは、この最初のしるしを  
ガリラヤのカナで行い、その  
栄光を現された。ヨハネ 2・11  
キリストによる変革を経験する  
者となる。

目標

## 12月18日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 2・1～11

それなのに、あなたはよいぶどう酒  
を今までとっておかれました。10節

お酒には縁のない私たちですが、きょうのお  
話しはすごく興味深いですよ。結婚式の裏方で  
起こったできごとです。料理がしらさんがなめ  
たお酒は、超とびきり上等のお酒で、すっか  
り感心して、花婿さんに、「普通、みんなに酔い  
が回ったころにはおいしくないのをだすのに、  
こんなよいぶどう酒をとっておいたのですね」  
と言いました。花婿さんはポカーン！実は、こ  
の超とびきり上等のぶどう酒は、元は水だっ  
たのだ！今週はそのカラクリを探ることにし  
ましょう。

祈り 天のお父様、イエス様によって水がぶど  
う酒に変えられたように、私たちの心  
と生活も素晴らしく変えてください。

## 12月19日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 2・1～2

イエスも弟子たちも、その婚礼に招  
かれた。2節

結婚式をするのはいろいろと大変のよう  
です。誰をお招きするのかというのも頭を悩  
ますのかもしれない。ガリラヤのカナで行  
われた婚礼は、もしかしたら、イエス様のお母  
さんのマリヤの親戚の人のだったのかもしれ  
ません。マリヤさんは裏方でご奉仕していたよ  
うです。そこに、イエス様も、弟子たちも招か  
れました。新しいカップルは実は一番大切な  
人を招きました。そう、イエス様です。どんな  
集まりでもまずはイエス様をお招きしまし  
よう。

祈り 天のお父様、イエス様のみ名で集まる所  
には、イエス様も必ずいてくださるとのお  
約束を感謝します(マタイ 18・20)。

## 12月20日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 2・3～4

ぶどう酒がなくなってしまいました。  
3節

結婚式の主役は新しいカップル。そうなん  
です。やっぱりおいしいごちそうや、ユダヤ  
では特に心を楽しんでくれるおいしいぶど  
う酒でした。ところが、よりによって、肝心の  
そのぶどう酒がなくなってしまったのです。祝  
宴はまだまだ続くというのに。母マリヤはすぐ  
にイエス様のもとに行って告げました。マリヤ  
さんは、一番いいことをしたのです。たとえそ  
の時イエス様から冷たくひびく言葉を聞いたと  
してもです。何でもイエス様に告げましょう！

祈り 天のお父様、私たちも困った時や、不安  
なことやわからない時、何でもイエス様  
のもとにもっていきます。

## 12月21日（水）



ヨハネ 2・5～7

このかたが、あなたがたに言いつけることは、なんでもして下さい。5節

「わたしの時は、まだきていません」とイエス様に言われても、マリヤさんは何のその、すぐにそこにいた僕たちに言いました。「このかたが、あなたがたに言いつけることは、なんでもして下さい」。マリヤさんもスゴイけど、この僕たちもアップレ！でっかい石の水がめ六つに水をいっぱい入れなさいとイエス様から言われて、「彼らは口のところまでいっぱい入れた」のでした。言いつけられたことはなんでもしたのでした。とても立派でしたね。

いの祈り

天のお父様、マリヤさんのような信仰と、僕たちのような素直な従順をあなたは喜ばれることがわかりました。

## 12月22日（木）



ヨハネ 2・8

さあ、くんで、料理がしらのところに持って行きなさい。8節

さあ、もしあなただったら、こんな時どうするでしょう？さきほど、かめの口まで入れた水、水です。たしかに水でした。それをくんで、料理がしらのところに持って行きなさいと、イエス様は言われます。「あの、イエス様、これって、水なんですけど……」なんて言いたくなるのかな？ところが、「すると、彼らは持って行った」とあるではありませんか！とにかく、言いつけられたことはなんでもすると、彼らはマリヤさんの言葉にしっかり従いました。

いの祈り

天のお父様、隠れた見えない所で名もない僕たちの素晴らしい従順の姿が光っています。とても教えられます。

## 12月23日（金）



ヨハネ 2・9～10

水をくんだ僕たちは知っていた。9節

「ウワーオ！何という、今まで味わったこともないような超とびきり上等のぶどう酒ではないか。どこからこんなおいしいものが来たんだ？」と、一口なめた料理がしらは感動、感心しました。そして花婿さんにおほめの言葉をかけたわけです。しかし、もちろん花婿さんにもわかりません。ただし、水をくんだ僕たちは知っていたのです。アッ！イエス様だ！イエス様のなさった奇跡のみわざだとね。従う者に神様はシークレット（秘密）を知らせてくださいます。

いの祈り

天のお父様、あなたののみ言葉にすなおに従うことがどんなに大きな祝福になるか、身をもって体験したいです。

## 12月24日（土）



ヨハネ 2・11

イエスは、この最初のしるしをガラヤのカナで行い、その栄光を現された。11節

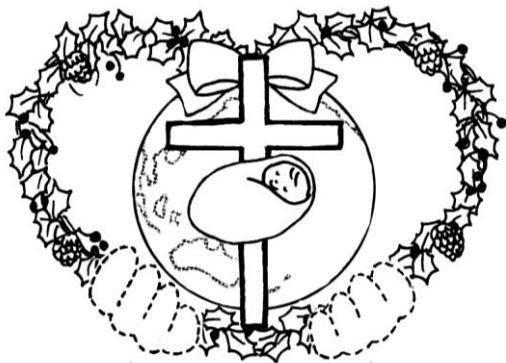
水がぶどう酒に変えられた奇跡、これはイエス様の最初のしるしでした。今もイエス様の言葉を信じて、従う人の心と魂と生涯をイエス様は変えてくださいます。水のような味気ない日々を、感謝と感動の日々に、水のような冷たく味のない心を、ぶどう酒のような豊かな味わいのある心にな。イエス様を信じて新しく造り変えられた人は、神様の栄光をあらわすのです。最後のしるしは、やがて天で行われる、小羊の婚宴です。栄光の大集合ですね。

いの祈り

天のお父様、明日はこの素晴らしいイエス様のお生まれをお祝いするクリスマスの聖日です。たくさんの人々と心からお祝いできますよう！



クリスマス



☆ Merry Christmas ☆

聖書

ヨハネ 3・16～21

テーマ

神のプレゼント

暗唱聖句

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。

ヨハネ 3・16

目標

救い主キリストを神からのプレゼントとして信じ受け入れる。

12月25日（日）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 16節

2016年のクリスマス、おめでとうございます！ きょうはクリスマス礼拝。その中で洗礼を受けるお友だちがいたら、二重におめでとう!!あとは、25日の朝が楽しみだなあと思っていますか？ クリスマス・プレゼントの朝ですものね。最高のクリスマス・プレゼントをもう受け取っていますか？ それは、神のひとり子、救い主イエス様のことです。このプレゼントを心から感謝して信じて受け入れてはじめて、クリスマスおめでとうと言えるのですね。

いの  
祈り

天のお父様、あなたからのクリスマス・プレゼントであるイエス様を、私の救い主として信じて受け取ります。

12月26日（月）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 16節

今週は、日曜日から金曜日まで、毎日同じみ言葉です。しっかり心に刻めますね。み言葉のひとつひとつを味わいます。すべての言葉は、「最も偉大な」がつけられる言葉なのです。まずは『神』です。このお方は、「最も偉大な愛のお方」ですね。『神は愛である』というのが聖書の中心的なみ言葉です。愛をもって、世界を造り、私たち人間を造り、愛をもって、今も宇宙を支え、私たちひとりひとりを導いてくださいます。その愛は永遠です。

いの  
祈り

天のお父様、本当にあなたは、「最も偉大な愛のお方」です。あなたを信じて、本当に幸せです。

12月27日（火）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 16節

きょうの言葉は、『そのひとり子』です。これは「最も偉大な贈りもの」です。あなたは何人兄弟、何人姉妹なのかな？ ふたり、3人、5人、7人！ それともひとりっ子？ 子どもがたとえ何人いたとしても、親にとっては、ひとりひとりがかけがえのない大切な存在なのです。それがもし『ひとり子』だったとしたら、どんなに大切なことか！ 神様にとってたったひとりの御子イエス・キリストを神様はプレゼントとしてくださいました。「最も偉大な贈りもの」でした。

いの  
祈り

天のお父様、あなたにとっては本当にかけがえのない大切な『ひとり子』をお与えくださって感謝いたします。

# 12月28日（水）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。16節

きょうの言葉は、『賜わった』という言葉になりますね。ちょっと、古い言い方だけど、わかりやすく言えば『与えてくださった』ということです。これは、「最も偉大な行い」ということになります。う～ん、与えることより、やっぱり、与えられる、つまり、もらっちゃう方がいいなと、みんな考えるでしょう。クリスマスはプレゼントをもらう日、とね。そういう人々の考えの中で『与える』ということは本当に、「最も偉大な行い」なのです。

いの

祈り 天のお父様、もらうことばかり考える私たちのために、あなたは最も偉大な行いをなさってください、感謝します。

# 12月29日（木）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。16節

さて、きょうはまた次の言葉です。『この世』これは、「最も大きな数」と言えるでしょう。今まで地球上にいたすべての人々、全世界の人々、これからこの世に生れてくるすべての人々というのですから、ほんとうに最も多い数です。神様はすべての人を愛していてくださるのです。大切なひとり子を与えてくださるほどに。すべての人、そして、ひとり、ひとりです。『この世』の代わりにあなたの名前を入れて、きょうのみ言葉を暗唱してくださいね。

いの

祈り 天のお父様、大勢の中で、かき消されそうですが、この「私」を愛していてくださることを信じられ感謝です。

# 12月30日（金）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。16節

そして、『愛して』くださったのです。これは、「最も偉大な限度まで」の愛なのです。私たちが仲良くしたり、好きになったりするお友だちって、どんな子たちでしょう？ 私に親切にしてくれたり、やさしくしてくれるお友だちでしょう？ 神様は、どんな人間を愛してくださったのか考えてみたことがありますか？ 「神様なんか」って背中を向けたり、罪ばかり犯し続けている、そんな私たちを愛してくださるのです！ 最大級の犠牲を払ってくださいね。

いの

祈り 天のお父様、人間の中には本当の愛はありません。あなたが愛して下さって初めて愛を知ることができました。

# 12月31日（土）

聖書  
聖句

ヨハネ 3・16

それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。16節

最後に、『永遠の命』という言葉です。これは、「最も偉大な持ちもの」と言えます。あるいは、「最も偉大な命」です。あなたが「オギャー」と生れて、そのままの命だったら、その命は滅びていく命ですよ。でも、罪がわかって、イエス様の十字架が私の罪の身代わりだったんだと、罪をおわびして、イエス様を信じたら、その時、新しい神様の命、滅びない永遠の命、罪を犯せない清い命がもらえます。たとい一度死んでもよみがえる命ですよ！

いの

祈り 天のお父様、何という驚くべき、あなたからのクリスマス・プレゼントでしょう！ 救い主イエス様を信じます。